

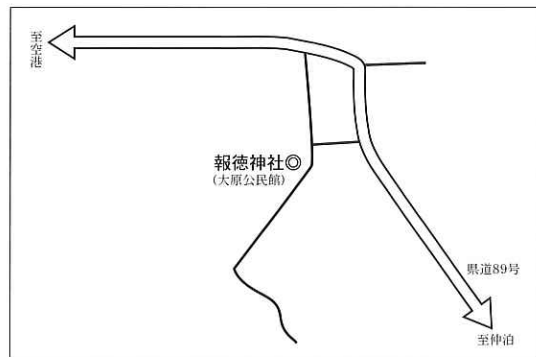


# 報徳神社

**指定名称** ほうとくじんじゃ 報徳神社 (町指定史跡)  
**所在地** 久米島町字大原37  
(大原公民館敷地内)  
**指定年月日** 昭和49年4月26日  
(旧具志川村指定)  
**所有者** 久米島町 (字大原)

報徳神社は「土地神」と「二宮尊徳」を併せて祭った神社である。

明治12年(1879)廃藩置県によって職を失った旧藩士の喜舎場朝賢、山内盛喜、知念政憲の3人が新開地に活路を求め、首里那覇の同士20人と共に県や政府の援助を元に明治18年(1885)4月久米島へ渡り、開墾を開始したのが、現在の字大原の創立である。同年、集落の創立と事業の基盤が出来たので、翌年の3月に集落の守護と農業の繁栄を祈願し、「土地神」を招請した。以来、旧暦2月2日を例祭日と定



め祭典を行っている。

開拓事業はその後、幾多の災害と苦難を克服しつつ進められ、やがて順調な発展を続け、明治39年(1906)に行政区として独立し、字大原となった。青年会を中心に尊農報徳の精神で、ここまで築き上げてきた字民の努力と功績が、明治44年(1911)島尻郡教育会から表彰され、その時贈呈された二宮尊徳の銅像を土地神と共に合祀した。

ちなみに報徳祭は毎年旧暦5月17日に行われている。